

在セネガル日本国大使館月報

2021年9月

主な出来事

セネガル

(内政)

- 2日、ウスマン・ソンコ PASTEF 党首やハリファ・サル前ダカール市長(Taxawu Senegaal リーダー)等、野党代表格約 20 名が、2022 年 1 月の地方選挙や 7 月の国民議会議員選挙での勝利を目的として野党連合「人民解放」(Yewwi Askan Wi)を発足させた。(2日 RFI)

(外政)

- 20～25日、国連総会出席のため訪米したサル大統領は、オーストリア、コモロ、コソボの大統領と会談した他、スイス大統領及びコスタリカ大統領と持続可能な食料システムに関する会合を共催。一般討論演説ではサヘルや中東情勢、コロナ対策、アフリカ・ニューディール等に言及した。(20～25日 大統領府 Facebook、大統領 Twitter)

(経済)

- セネガル国営石油会社(Petrosen)は、サンゴマール油田の一つ目の水平油井採掘に成功した旨を発表。石油製造は 2023 年初めに開始予定。(13日 L' Observateur)

ガーボベルデ

- 国連総会出席のため訪米したフォンセカ大統領は、22日、一般討論演説において、カーボベルデにおけるコロナ対策や小島嶼国への支援強化等に言及した。(23日 RFI)
- 30日、10月17日に行われる大統領選挙の候補者7名による選挙運動が開始された。(30日 RFI)

ガンビア

- 5日、バロウ大統領のNPPと亡命中のジャメ前大統領のAPRCの党派連合が発表された。前大統領による人権侵害の罪を弾劾する政府の意思が疑われるとして、人権団体等が批判している。(6日 Africa News)

ギニアビサウ

- 6～9日、エンバロ大統領はブリュッセルを訪問し、フィリップ・ベルギー国王、ミシェル欧州理事会議長、サッソーリ欧州議会議長、アフリカ・カリブ海・太平洋諸国機構(OACPS)のチトキ事務総長及び加盟国大使等と会談を行った。(6～9日 大統領 Facebook)
- 20～25日、国連総会出席のため訪米したエンバロ大統領は、一般討論演説において安保理を含む国連機構の改革の必要性を強調した。また、トルコ及びコソボ大統領、グテーレス国連事務総長、米国連大使等と会談した。(20～25日 大統領 Facebook)

- ・文中の「コロナ」とは特別な記載がない限り、「新型コロナウイルス」のことを指すこととする。
- ・閣僚の官職名は適宜省略した形とする。(例:タル外務・在外自国民大臣→タル外務大臣など)

セネガル

(内政)

内政一般

- 2日、ウスマン・ソンコ PASTEF 党首やハリファ・サル前ダカール市長(Taxawu Senegaal リーダー)等、野党代表格約 20 名が、2022 年 1 月の地方選挙や 7 月の国民議会議員選挙での勝利を目的として野党連合「人民解放」(Yewwi Askan Wi)を発足させた。(2 日 RFI)
- 9日、ワッド前大統領(セネガル民主党(PDS)党首)やンバイ前首相等の野党代表が結集し、野党連合を発足させた。(10 日 RFI)

(外政)

二国間関連

- 1日、セネガルは COVAX の枠組みで中国から供与されたシノファーム製ワクチン 277,200 回分を受領した。(1 日 保健省 Facebook)
- 10日、セネガルはベルギーから供与されたアストラゼネカ製ワクチン 124,800 回分を受領した。(10 日 APS)
- 10日、世界銀行の支援(アフリカワクチン入手トラスト(AVAT))によりセネガル政府が獲得したジョンソン・アンド・ジョンソン製ワクチン 158,400 回分、及びベルギー政府がCOVAX経由で無償供与したアストラゼネカ製ワクチン 38,400 回分がセネガルに到着した。(11・12 日 Le Soleil)
- 7日、サル大統領は、セネガルを訪問したアビィ・エチオピア大統領と共にブレーズ・ジャーニュ国際空港を視察した他、二国間関係の強化やパン・アフリカリズムの推進について協議した。(8 日 Le Soleil)
- 7~10 日に渡り訪れたサル外務大臣は、ルドリアン仏欧州・外務大臣と会談し、国際情勢や二国間協力について協議した他、司法や労働権に関する 3 つの文書への署名を行った。(7~10 日 外務大臣 Twitter)

国際情勢・国連機関支援等

- セネガル軍兵士 625 名から成る第 5 次部隊が ECOMIG(ガンビアECOWASミッション)に派遣された。(1 日 Le Quotidien)
- 8日、ギニア情勢に関するECOWAS臨時オンライン首脳会合に出席したサル大統領は、自身の Twitter にて、クーデターを非難しギニアの憲法秩序の回復を求める同首脳会合の決定を支持する旨述べた。(9 日 Le Quotidien)
- 10日、サル大統領は、セネガルを訪問した国際刑事裁判所(ICC)のカーン主任検察官と会談した。カーン氏はセネガルにおける人権保護に関する進歩や国際法遵守について称賛を述べた。(10 日 大統領府 Facebook)
- 16日、アクラで行われたギニア情勢及びマリ情勢に関するECOWAS臨時首脳会合に出席したサル大統領は、自身の Twitter にて、同首脳会合において下された地域の民主主義や安定を保つための決定を歓迎する旨述べた。(16 日 大統領 Twitter)
- 国際刑事裁判所(ICC)は、セネガル人アダマ・ジェング氏を特別顧問に任命した。(18・19 日 Le Soleil)
- 20~25 日、国連総会出席のため訪米したサル大統領は、オーストリア、コモロ、コソボの大統領と会談した他、スイス大統領及びコスタリカ大統領と持続可能な食料システムに関する会合を共催。一般討

論演説ではサヘルや中東情勢、コロナ対策、アフリカ・ニューディール等に言及した。(20～25日 大統領府 Facebook、大統領 Twitter)

日本関連

- 新井辰夫駐セネガル日本大使は、東京パラリンピックの閉幕に際してメッセージを発信し、出場選手の健闘を称えた他、2026年のダカールユースオリンピックに言及し、セネガルの選手への支援を継続する旨述べた。(8日 Le Soleil)
- 日本は、12月6・7日に開催予定の第7回アフリカの平和と安全に関するダカール国際フォーラムのため、9億FCFAの財政支援を行う。日本は初回から同フォーラム開催に貢献しており、累計支援額は34.67億FCFAに上る。(17日 Le Soleil)
- 日本はセネガルの食糧安全保障の強化のため、12.5億FCFAを供与した。(30日 APS)

(経済)

経済一般

- セネガル国営石油会社(Petrosen)は、サンゴマール油田の一つ目の水平油井採掘に成功した旨を発表。石油製造は2023年初めに開始予定。(13日 Le Soleil)

カーボベルデ

- 4日、コレイア・エ・シルヴァ首相は、成人の70%が1回目のコロナワクチン接種を終了した旨や、10月末までに接種率85%の達成を目指す旨述べた。(4日 RFI)
- 6日、フォンセカ大統領は、ギニア情勢に関する初めての反応として、クーデターを非難し、憲法秩序の回復を求める旨述べた。(6日 RFI)
- 7日、カーボベルデ保健省は、3日にスロベニアの無償供与によるアストラゼネカ製ワクチン15万回分を受領した旨発表した。(保健省 Facebook)
- 日本はカーボベルデにおける遠隔医療支援のため、約2.5億CVEを供与した。(8日 Inforpress)
- 14日、カーボベルデ保健省は、13日にルクセンブルクからのCOVAX経由のアストラゼネカ製ワクチン無償供与分56,000回分及び注射器56,000本が到着した旨発表した。(14日 保健省 Facebook)
- 22日～26日、コレイア・エ・シルヴァ首相はサントメ・プリンシペを訪問し、二国間協力の再活性化について協議予定。(23日 RFI)
- 国連総会出席のため訪米したフォンセカ大統領は、22日、一般討論演説において、カーボベルデにおけるコロナ対策や小島嶼国への支援強化等に言及した。(23日 RFI)
- 30日、10月17日に行われる大統領選挙の候補者7名による選挙運動が開始された。(30日 RFI)

ガンビア

- 保健省は、国民の10.3%がコロナワクチン接種を完了した旨発表した。(2日 The Point)
- 5日、ガンビア外務・国際協力・在外ガンビア人省は、ギニアで発生したクーデターを非難し、憲法秩序の回復を呼びかける声明を発表した。
- 5日、バロウ大統領のNPPと亡命中のジャメ前大統領のAPRCの党派連合が発表された。前大統領による人権侵害の罪を弾劾する政府の意思が疑われるとして、人権団体等が批判している。(6日

Africa News)

- ガンビア政府は、7月から9月にかけて、ジブチ、チャド、ガボン、アンゴラとの外交関係樹立に関する共同コミュニケに署名を行った。(9日 The Point)
- ガンビア政府は、ワクチン接種完了証明の保持者について、10月1日より、ガンビア入国時のPCR検査証明の携行義務や到着後の隔離措置が免除される旨を発表した。(28日 The Point)

ギニアビサウ

- 6～9日、エンバロ大統領はブリュッセルを訪問し、フィリップ・ベルギー国王、ミシェル欧州理事会議長、サッソーリ欧州議会議長、アフリカ・カリブ海・太平洋諸国機構(OACPS)のチトキ事務総長及び加盟国大使等と会談を行った。(6～9日 大統領 Facebook)
- 16日、エンバロ大統領は、アクラで行われたギニア情勢及びマリ情勢に関するECOWAS臨時首脳会合に出席した。(17日 大統領 Facebook)
- 20～25日、国連総会出席のため訪米したエンバロ大統領は、一般討論演説において安保理を含む国連機構の改革の必要性を強調した。また、トルコ及びコンゴ大統領、グテーレス国連事務総長、米国連大使等と会談した。(20～25日 大統領 Facebook)
- 20日、全国の医療施設において医療従事者の無期限の大規模ストライキが発生。政府は最低限のサービスを確保すべく軍医を派遣した他、法的手段に出る可能性を示唆し調査を開始。検察総長はストライキによる被害者の家族に対し、訴訟を起こすよう呼びかけた。(20～24日 Odemocrata、28日 Rádio Jovem Bissau Facebook)
- エンバロ大統領は、24日の独立記念日に際して国民に向けたメッセージを発信し、国民の団結や政治的安定、民主主義的ガバナンスの強化等について言及した。(23日 Odemocrata)
- 25日、ギニアビサウ政府は災害宣言の延長を決定。マスク着用義務や集会の人数制限等の措置が引き続き継続される。同宣言は10月10日まで有効である。
- 28日、国際通貨基金(IMF)は、ギニアビサウのマクロ経済の不均衡是正やガバナンス強化を目的とするプログラムの第1回評価ミッションをオンライン形式で開始した。(28日 Rádio Jovem Bissau Facebook)
- 29日、ギニアビサウ、ガンビア、モーリタニア、セネガルの4か国は、セネガル・モーリタニア帯水層の持続可能な利用のための司法・機関枠組み確立に向けた交渉を開始することで合意した。(29日 Odemocrata)
- ギニアビサウ・コロナ対策委員会は、国民の8.9%がコロナワクチン接種を完了し、14.5%が少なくとも1回の接種を受けた旨を発表した。(29日 コロナ対策委員会 Facebook)

(注)本月報は、セネガル、カーボベルデ、ガンビア、ギニアビサウの報道を当館限りでまとめたものです。記事内容は、日本政府やセネガル政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承下さい。 (了)